

平成 24 年 9 月 5 日

中央教育審議会  
教育振興基本計画部会長  
三 村 明 夫 様

全国連合小学校長会長 露 木 昌 仙

## 第 2 期教育振興基本計画審議経過報告についての意見

中央教育審議会教育振興基本計画部会が、これまで第 2 期教育振興基本計画策定に向けて具体的な成果目標や方策等について審議を進めてこられたことに対しまして敬意を表します。

全国連合小学校長会は、本年 2 月に「第 2 期教育振興基本計画の策定についての意見」として、これまでの第 1 期の計画では明記されなかった具体的な数値目標の設定、教職員定数改善計画等の策定や教育の諸条件の一層の整備などを要望してきたところです。

今回、第 2 期教育振興基本計画審議経過報告（素案）がまとめられましたが、さらにご留意いただきたい事項について下記のとおり申し述べます。

### 記

#### 1 公財政教育支出の増額を図り数値目標を設定いただきたい。

○公財政教育支出の GDP（国内総生産）比については、OECD（経済協力開発機構）諸国の平均が 5.4%であるのに対して、我が国は 3.4%となっている。昨年度との比較においても 0.2%減少している。年次の数値目標を盛り込んだ公財政教育支出の増額計画を策定いただきたい。

#### 2 教職員定数改善年次計画を策定いただきたい。

○きめ細やかで質の高い教育に対応するためには、教職員体制等の整備が必要である。全学年で学級編制の標準を 35 人以下に引き下げることや習熟度別指導、震災復興のための加配教職員定数を増やすことなど小学校教職員の配置率の引き上げを図る年次の数値目標を盛り込んだ教職員定数改善年次計画を策定いただきたい。

また、正規の教員採用選考を経ない臨時的任用の教員など非正規教員の割合が昨年度は全国平均で 16.0%に達するなど、教育の質の確保に向けての課題となっている。非正規教員を抑制することにご留意いただきたい。

3 特別なニーズに対応した教育を推進するためには、人的な措置を含めた支援体制について、年次の数値目標を盛り込んだ計画を策定いただきたい。

○インクルーシブ教育システム構築のための合理的配慮及びその基礎となる教育環境の整備、帰国・外国人児童に対する教育の充実など特別なニーズに対応した教育の推進のためには、人的な措置も含めた支援体制の年次の数値目標を盛り込んだ計画を策定いただきたい。

4 新学習指導要領の着実な実施とフォローアップ等（言語活動、理数教育、外国語活動、情報教育等の充実）のための教育環境の整備について、年次の数値目標を盛り込んだ計画を策定いただきたい。

○新学習指導要領の趣旨である「基礎的・基本的な知識および技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」「言語活動の充実」などの教育活動を実施するためには、施設・設備、教材等の整備を計画的に図る必要がある。また、それらの整備状況などに各都道府県の財政状況等による違いがあることから、全公立小学校の教育条件を均しく向上させる年次の数値目標を盛り込んだ計画を策定いただきたい。

5 学校の安全を一層充実するために、非構造部材を含めた学校施設の耐震改修について年次の数値目標を盛り込んだ計画の策定をいただきたい。

○東日本大震災においては、学校施設の非構造部材にも多大な被害が見られた。児童が安心して学び、生活する場であるとともに、応急避難場所としての役割も果たす学校施設の耐震化等の整備を非構造部材も含め耐震改修を進める年次の数値目標を盛り込んだ計画を策定いただきたい。

6 成果目標及び成果指標を数値化する際には、各学校等が数値のみにとらわれないようにご留意いただきたい。

○全国各小学校の児童、教職員、地域などの状況は様々である。また、各都道府県、市区町村教育委員会の教育施策にも違いがある。そのような状況の中で一律画一的に数値目標達成を求めれば学校現場の混乱は必至である。慎重にご検討いただきたい。